

# 2023年度 メリー★ポピンズ 蕨北町ルーム 事業報告書 (保育所における自己評価)

## 1. 2023年度の概要 ～年度の基本方針を受けて～

「地域に開かれた園」「学びと実践～Trial & Error～」 「食育環境整備」を目指す。

- ① 自園の活動を SNS 等で発信し、地域に開かれた園を目指す。  
 まだまだ発信力が足りず、子育て支援としての機能を果たせていなかった。  
 見学者は多く、広くて開放的な室内や保育内容に関心を寄せて下さる方が多かった。  
 次年度は、自治体を巻き込んでの発信をし、子育て支援に繋がりたい。
- ② 日課や基本活動をスタッフ全員が理解し、PDCA を通して子どもたちに必要な体験を数多く出来る環境を作る。  
 日課の重要性を理解し、毎日の活動として定着してきた。子どもたちの体験の場を多く作りたいという意気込みは感じられる。反面、スタッフのスキル向上が伴わず、今後の課題となっている。  
 次年度は、大人の主体性を考え、スキル向上につなげていく。
- ③ 調理士・栄養士だけでなく保育士を含めた全スタッフで、食育環境を改善していく。  
 子どもたちの普段の食事量・食事時間の過ごし方などを観察した。その結果を基に保育士・調理員と、どの様にすれば食に興味を持つかを考えた。畑で収穫した野菜を調理したり、コンポストを設置したり、魚や鶏肉の解体を実施し、その場で試食したりと、子どもたちと一緒に活動する事で興味を持つ子供が増え、食事の残が減ってきている。  
 次年度も、食に関する活動の継続と、残渣減を実行していく。

### 〈1〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	・健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力の基盤を培う。
	実践結果	・日課の重要性を何度も会議で見直し、毎日行う事で定着してきた。
	次年度方向性	・習慣化するだけでなく、日課の意味を子どもたちと一緒に考えて行うようにしていく。
2	計画・ねらい	・日々の保育の中で豊かな感性と表現ができるような保育計画を立て、保育内容を充実させる。
	実践結果	・子どもの気付きに保育士が対応できず、気付けても次への展開が難しい場面もあり、ミーティング等でスタッフ同士共有しながら、計画を立てていた。
	次年度方向性	・保育の質向上のための研修等、スタッフが学べる機会を作れるように仕組みを作っていく。

3	計画・ねらい	・子どもの発達援助、生活援助の知識を向上させ、保育の環境構成を充実させる。
	実践結果	・子どもの発達について研修を行うなどスタッフの知識向上を図り、質向上につなげた。
	次年度方向性	・スタッフ同士での研修等で、保育の質を高める。
4	計画・ねらい	・子どもも大人も主体性のある行動が出来るようになる。
	実践結果	・主体性の理解を深めるために研修を行い、まずはスタッフが主体的な行動が出来るようにしていった。
	次年度方向性	・都度研修を行い、スタッフの主体的な保育を行えるようにしていく。

## 〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	個々の保護者とのコミュニケーションをとりながら、その保護者の子育てに寄り添い援助していく。
	実践結果	お迎え対応時に保護者との時間を取るように心掛けた。お迎え時間が重なるなど時間帯によってはしっかり時間を取っての対応が出来ないことが散見され、コミュニケーションが充分に取れなかった。
	次年度方向性	時間によってはゆっくり話す時間が取れない場合もあるので、個別で面談を設ける等、工夫し時間を取っていく。
2	計画・ねらい	日本での就学を考えている保護者が大半であるため、不安要素を出来るだけ取り除き、学校と連絡を密にしていく。
	実践結果	異なる文化の違いに対応してもらえるよう、分かりやすい言葉で説明が出来るよう心掛けた。
	次年度方向性	柔軟に受け入れてもらえる家庭が増えるよう、スタッフ間での情報共有と工夫を続けていく。

## 〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	地域の実情を踏まえ、地域の子育てをしている保護者に対して、保育の専門性を生かした子育て支援を積極的に行う。
	実践結果	発信力が足りず、ちきんえっぐや行事への参加、自園の利用者が少なかった。
	次年度方向性	青空保育等で積極的に話しかけ、自園の良さを知ってもらえるよう、パンフレット等を常にリュックへ携帯する。
2	計画・ねらい	保育園が気軽に遊びに来られる場所になるように、出来るだけ園の様子を地域へ発信していく。
	実践結果	市役所等におたよりを置いてもらったが、置いてもらうだけでは足りないと感じた。

	次年度方向性	近隣だけでなく、他園との交流を図ったり、発信を増やしたりして園を知ってもらい、対応できるスタッフを増やしていく。
--	--------	--

#### 〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	3年後・5年後の自分の姿を想像し、目標を立てる。
	実践結果	将来像を想像して計画を立てる事に慣れておらず、目先の目標設定に留まり、中長期的な目標設定・育成計画が出来ていなかった。
	次年度方向性	今年度の目標を踏まえ、次年度・3年後・5年後の目標を立てられるよう、個別で面談等を行っていく。
2	計画・ねらい	園内研修の講師をスタッフが努め、全体のスキルアップを目指す。
	実践結果	各月の講師をスタッフがやる事で自信に繋がり、会議やミーティングでの発言が増えた。
	次年度方向性	一方的な講義形式だけでなく、ディスカッション等を取り入れた双方の学びの場となるよう指導していく。

#### 〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	生き物の世話を通して、生きることについて考える。 魚や肉の解体だけでなく、様々な体験を通して命を頂く気持ちを忘れず、食する事に興味関心を持つ。
	実践結果	魚や鶏肉の解体を目の前で行い、その場で焼いて試食するなどの体験を行った。幼児クラスは、食に興味を持ち、食べる量も増えてきた。
	次年度方向性	次年度も活動は継続し、命を頂く気持ちを感じてもらえるように計画する。
2	計画・ねらい	給食残渣を計測し、スタッフ全体で園の実情を共有する。残渣を減らすために、子どもたちへ食の大切さを知らせる。
	実践結果	子どもたちが食べきれる量を盛り付け、食べきった感を持たせ、おかわりをする意欲を持たせたことで残渣が減った。
	次年度方向性	次年度も、子どもたちが食に興味を持ち、楽しく食事が出来るよう、スタッフの声掛けを多くしていく。

#### 〈6〉必要な会議の実施と討議

1	計画・ねらい	園会議がスタッフ主導で行えるようになる。
	実践結果	議案収集や資料作りに積極的になり、スタッフ主導で行えるようになった事で、責任感も出て会議内での発言も増えた。
	次年度方向性	次年度は、会議内容を検討し、スタッフのスキル向上に繋がるよう促していく。

2	計画・ねらい	昼礼時間を有効に使い、スタッフ間のコミュニケーションを図る。
	実践結果	昼礼時間帯のミーティングを、スタッフ主導で行った。こまめに行う事で、計画を立てやすくなった。
	次年度方向性	コミュニケーションツールを利用する事で、更にミーティングを行いやすい環境を作り、スタッフ間の共有を密にする。

### 〈7〉スタッフの自己向上心を上げる

1	計画・ねらい	スタッフの目標を明確化し、スタッフ同士が質向上を目指して、進捗を確認していく体制を整える。
	実践結果	個別の月目標を掲示し、園会議内でお互いの進捗・反省を確認するようにした事で、スタッフのモチベーションアップが上がった。
	次年度方向性	次年度も継続し、個別の月目標を立て、質向上を目指す。
2	計画・ねらい	Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)を繰り返すことによって、日々の保育を継続的に改善していく。
	実践結果	全体的にPDCAが上手く機能できず、育成に繋げる事が出来なかった。
	次年度方向性	次のステップに行くために改善する事を理解し、スタッフの育成に繋げていく。

## 2. 施設運営

### 〈1〉児童利用状況

月極利用児童受託状況（延べ人数）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
年度前半： 4~9月	0人	47人	57人	60人	60人	60人	284人
年度後半： 10~3月	0人	48人	54人	60人	60人	60人	282人

延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	194 人	157 人	173 人	141 人	153 人	150 人	156 人	144 人	169 人	175 人	149 人	150 人	1911 人

うち0 歳児	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
-----------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

(解説) 保護者の勤務体制が在宅から出社になっているようで、延長保育利用者も毎月同じ家庭が利用されている。

一時保育利用状況

(解説) 実施なし

## 〈2〉 開所時間

7時00分～20時00分

## 〈3〉 スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	7人	看護師	0人	調理	1人
パート スタッフ	保育士	0人	補助	1人	栄養士	1人

## 3. 運営報告

### 〈1〉 施設内会議

会議名	実施回数	会議内容
園会議	月1回 ※2,3月は策 定会議にて 実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピテンシー</li> <li>・保育の質向上に関わる勉強会</li> <li>・エピソード研修</li> <li>・毎月テーマを決めての園内研修</li> </ul>
給食運営会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育体験の打ち合わせ・反省</li> <li>・残渣報告</li> <li>・食事の様子報告</li> </ul>
事故防止委員会	月1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自園のインシデント・ヒヤリハット振り返り</li> <li>・自園の事故振り返り</li> <li>・他園の事故ケースを自園に置換え、事故を起こさないよう話し合う</li> </ul>
ケース会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの様子</li> <li>・気になる子どもの様子</li> </ul>

クラス会議	適宜	・乳児・幼児の各クラスで、議題を持ち寄り話し合う
-------	----	--------------------------

### 〈2〉出席した施設外会議（Web参加含む）

会議名	実施回数	参加スタッフ
施設長会議 ／法人本部	月1回	施設長
施設長勉強会 ／法人本部	月1回	施設長
食育会議 ／法人本部	年4回 (5.7.11.2月/5.8.11.2月)	施設長 調理スタッフ
保健会議 ／法人本部	年4回 (5.7.11.2月/5.8.11.2月)	施設長
主任会議 ／法人本部	年10回	主任・ミドルリーダー
子育ての質を上げる会議	月1回	保育士

### 〈3〉系の設置状況

系名	活動の様子・省察
衛生管理係	保健計画の作成及び振り返り、嘱託医へ健診の依頼連絡、当日の手伝い、検体取りまとめ・投函、書類のチェック・ファイリング、室内・戸外のハザードマップ作成・見直し・変更
安全対策係	毎月の避難訓練計画、消防署へFAX、保護者宛お知らせ、玩具破損チェック、室内外の危険箇所チェック、自主点検表準備、事故防止委員会議事進行
防火管理者	施設の火元の管理、消防計画の作成と届出、防火・消火についての毎月1回の職員訓練を行う
食品衛生管理係	保育園の給食、食育に関する取り組み、給食食材および提供食材の衛生管理と在庫状況の管理
畑係	年間農業計画の遂行状況の確認や整備、畑の管理
生き物係	飼育全般に対する管理
備品係	備品の整理および管理、発注の取りまとめ

#### 〈4〉行事係の設置状況

係名	活動の様子・省察
どろんこ祭り係	どろんこサポーターズとの連絡、企画書・報告書作成、当日の会場設置

## 4. 保育支援

### 〈1〉保育・保育参加・保護者面談および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な環境に興味や関心をもって関わり、様々な体験を積み重ねる。</li> <li>・発育に応じて、遊びの中で体を動かす機会を十分に確保し、自ら体を動かそうとする意欲が育つようにする。</li> <li>・異年齢児で活動を行う中で、互いに刺激を受け合いながら自分達で課題を解決する力が身に付き、相手の気持ちに気付くことができる保育を行う。友だちとの間で様々な葛藤を経験しながら、自分たちで約束やルールを作っていく保育を行う。</li> <li>・集団の中の自分という存在を受け止め、自分自身と他者の良いところを認められるようになる。</li> </ul>
保育参加	4～3月まで 合計3名 が参加済み (3月1日時点) ・ だいず組の3家庭からの参加
保護者面談および発達相談	4～3月まで 合計6名 が参加済み (3月1日時点) ・ 発達による相談 ・ 医療機関での診察結果 ・ 子育て相談
運営委員会	運営委員会を6月17日、11月18日に自園会場にて実施し、参加した保護者各3名詳細は議事録に記載

### 〈2〉計画した年間行事の振り返り

- ・ 別紙「2023年度年間スケジュール」に掲載
- ・ 保育参加・保護者面談は随時開催

### 〈3〉給食・食育に関する実践結果

1	計画・ねらい	家庭との連携を図りながら、保育者・調理員など全スタッフがプロとしての専門性を活かしながら、共に食を営む力の基礎を作る。 家族や先生、友達と一緒に楽しい食事の時間にする。 食事にもマナーがある事を知らせる。
---	--------	--

	実践結果	食べる事の楽しさや必要性を感じとれるような言葉掛けを心がけ、家庭での様子・園での様子を共に共有していった。食事のマナーが出来ていない子どもも少数おり、声掛けした。
	次年度方向性	家庭との連携を密にし、食への意欲を掻き立てていく。食事マナーを伝えていく。
2	計画・ねらい	自分たちで栽培し、調理したものを食べることで、食の楽しさ・大切さ、自然の恵み、命の大切さ、食の循環サイクルを知り、いろいろな食材に感謝の気持ちを持って食する。
	実践結果	畑やプランターで栽培し、収穫した野菜を食べたり、コンポスト等で堆肥を作ったりし、食への興味を持てるよう工夫した。
	次年度方向性	コンポストだけでなく、商店街ツアーなど、食に関する知識を伝えていく場を作り、食への興味関心を育てていく。

#### 〈4〉保健に関する実施結果

実施項目	詳細
園児健康診断	6月14日／11月29日に実施
歯科検診	7月1日に実施
保健だより	毎月25日におたより配信を実施
スタッフ健康診断	年1回実施
スタッフ検便	毎月1回（全スタッフ対象）
その他実施した園児への保健指導、又は、取組等	① 毎月20日に自園にて身体測定を実施 ② 6月歯磨き指導月間を実施
流行した感染症	① インフルエンザ、9月園児1名・10月園児9名・2月園児1名 ② ヘルパンギーナ、7月園児4名 ③ 溶連菌、7月園児1名・8月園児1名・9月園児1名・1月園児2名・2月園児1名 ④ コロナ、7月園児1名・9月園児2名・11月園児1名・1月園児1名・2月園児4名 ⑤ アデノウイルス、10月園児2名
発作・痙攣等の対応	該当者なし
エピペン使用できるスタッフの状況	・本日時点で、在籍スタッフ10名のうち、8名が使用可能



AED 使用できるスタッフの状況（AED 設置施設のみ）	・本日時点で、在籍スタッフ10名のうち、8名が使用可能
その他保健に関する取組	主に5歳児を対象に性教育指導 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

### 〈5〉 各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	防災自主点検 （備蓄品点検含む）	6・12月の25日に実施済み
	避難消火訓練	毎月1回／15日に計12回実施済み
	不審者侵入訓練	6・12月の25日に実施済み
	情報セキュリティチェック	5月・11月に実施済み
	誤飲・誤嚥防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	フロン点検（簡易）	対象物の簡易点検4・7・10・1月の25日に計4回実施
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日実施⇒実施していない日 0日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日実施⇒実施していない日 0日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日に計12回実施済み
	個人衛生点検簿／毎日	毎日実施⇒実施していない日 0日
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月 ⇒4月1日、10月1日に実施済み
	身長体重測定	毎月1回／20日 実施済み
	児童健康診断	内科健診 各年2回／6月13日、11月7日 歯科健診 各年1回／6月14日
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時 ⇒4月28日、10月27日に実施済み
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間 実施済み
	利用者アンケート調査	8月25日～9月5日に実施済み

## 〈6〉実施した環境整備の状況

1	計画・ねらい	棚の上の整理整頓、清掃の他、子どもたちがいつでも気持ちよく生活できるようになっているか、自らが生活することを考えながら清潔な環境を整える。
	実践結果	整理整頓が苦手なスタッフが多いため、スタッフ間で声を掛け合い、園全体を清潔にするよう、会議内でも振り返りを行っていた。
	次年度方向性	年に数度、断捨離をし、物を増やさない工夫をする。また、綺麗な状態を持続するよう心掛ける。
2	計画・ねらい	玩具は発達状態に合わせたものを準備し、いつでも好きな遊び、好きな玩具が使える状態にしておく。 室内環境を都度見直す際、玩具の適正も見直す。
	実践結果	玩具の配置が難しく、都度室内環境を見直していた。また、玩具の老朽化が見られる。
	次年度方向性	玩具の選定をし、新しく購入する事も検討する。玩具の配置は、都度、変更しながら、子どもたちが使いやすい玩具・配置にしていく。
3	計画・ねらい	副園庭となっている蕨北町公園とそれ以外の公園の安全面、衛生面（ゴミやタバコの吸殻の始末）など、特に注意すると共に、散歩時も常に環境面に留意する。
	実践結果	戸外先でのゴミ拾いの徹底、帰園してからの帳票記入を行った。
	次年度方向性	帳票の継続と、安全面・衛生面についてどうあるべきかを話し合う場を作り、環境を整えていく。また、普段使用しない遊具などについても、使用前には必ず確認を行い、危険箇所などはハザードマップに記し共有する。

## 〈7〉手作り遊具・家具安全点検結果

手作り遊具・家具 なし

## 5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践結果	普段の小さな怪我が大きな怪我に繋がらないよう、スタッフ同士の声掛け・配置等の事故防止のミーティングを行った。但し、子どもの体験は出来るよう必要以上の危険回避を行わないよう、研修を行い共有した。
2	実践結果	避難訓練時、スタッフの声に反応し、直ぐに避難するようになっており、日頃の訓練を真剣に受けている。普段大きな声で話している子も、保育者の言葉をしっかりと聴けるようになっていた。 スタッフは、誰が何をすべきかを把握し、臨機応変に対応できるよう、今後も訓練を重ねていく。
3	実践結果	伝達ノートに書いてあっても伝え忘れがあり、電話にての謝罪を行った。伝え漏れを防ぐのが、今後の課題となる。
4	実践結果	今年の不審者侵入訓練は、スタッフ間で話し合い、いつどのように誰が来るか分からないという想定で行った。戸外時の防犯意識はまだ低く、次年度は戸外先や散歩時の防犯に焦点を当てて計画を立てる。

5	実践結果	今年度は、光化学スモッグの情報がほとんど無かった。 熱中症対策として水分摂取や涼しい場所で遊ぶ等の対応を行った。子どもたちの体調をしっかりと把握し、都度対応した。
---	------	--

## 6. 実習生・中高生の受入

### 〈1〉今年度の振返り

昨年度、実習に来た生徒でした。子どもたちにも好かれており、楽しく過ごせていたようです。責任実習との事で緊張も見られましたが、準備をしっかりと行い当日に挑んでいました。

### 〈2〉実習生の受入

日程	学校名	人数	実習内容
7月3日～7月14日	大宮こども専門学校	1人	責任実習
7月5日～6日	東京こども専門学校	1人	責任実習
7月24日～28日	大宮こども専門学校	1人	部分実習
8月14日～26日	日本児童教育専門学校	2人	部分実習
8月28日～9月9日	日本児童教育専門学校	1人	責任実習
10月2日～13日	大宮こども専門学校	1人	責任実習
12月4日～15日	大宮こども専門学校	1人	責任実習

### 〈3〉中高生の受入

該当なし

## 7. スタッフ研修

### 〈1〉園内研修の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンピテンシ ー自己採点	28日 10名	29日 10名	30日 10名	28日 10名	25日 10名	22日 10名	27日 10名	24日 10名	22日 9名	26日 9名	26日 9名	21日 9名
テーマ別研修	28日 10名	29日 10名	30日 10名	28日 10名	25日 10名	22日 10名	27日 10名	24日 10名	22日 9名	26日 9名	26日 9名	21日 9名

### 〈2〉外部研修への出席

日程	主催	研修名	出席	施設長推薦
4月2日～ 10月1日	一般社団法人心療対話士協会	心療カウンセラー研修	1名	有
1月13日 1月14日	園長大学・保育士大学	キャリアアップ研修	1名	有
2月17日 2月18日	園長大学・保育士大学	キャリアアップ研修	1名	有
2月23日 2月24日	園長大学・保育士大学	キャリアアップ研修	2名	有

### 〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修 (子育ての質を上げる会議)	19日 1名	17日 1名	21日 1名	19日 1名	23日 1名	20日 1名	18日 1名	22日 1名	20日 1名	17日 1名	21日 1名	21日 1名
施設長勉強会	19日 1名	17日 1名	21日 1名	19日 1名	23日 1名	20日 1名	18日 1名	24日 1名	20日 1名	17日 1名	21日 1名	21日 1名
全社員研修	9月に動画視聴にて研修を実施(全スタッフ対象)											
リーダー養成研修	該当なし											

### 〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育

成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝えた。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をした。

## 8. 地域交流

### 〈1〉今年度方針・テーマの振り返り

公園等で出会った地域の方々と少しでも交流を図れるよう、積極的に声をかけた。  
また、スタッフから声をかけることで、背中を見せる保育を実践し、子どもたちも手を振ったり挨拶したりしていた。

### 〈2〉実施した地域交流

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：わらび公園にて
商店街ツアー	週1回 主な行き先：交番、パン屋、八百屋、西友、ダイソー、花屋、ドラッグストア、リサイクルショップ、神社、魚屋、肉屋、お茶屋等
異年齢交流	7月26日に自園にて小学生との交流を実施
銭湯でお風呂の日	月2回 〈3～5歳児〉 実施

## 9. 小学校との子ども間交流・職員間交流

### 〈1〉今年度の振り返り

昨年度に引き続き、電話または対面でのスタッフ間での情報交換のみになった。  
次年度は、こちらから小学校に働きかけ、積極的に関わりを作っていきたい。

### 〈2〉具体的な連携

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動名（会場）	内容
1月26日	北小学校	1名	北小学校	職員間交流
2月13日	中央小学校	1名	電話にて	職員間交流

## 10. 要支援児

### 〈1〉 個別支援計画の作成・見直しの状況

今年度、対象園児なし

### 〈2〉 毎月のケース会議開催の状況

・ 4～3月に計12回開催 参加者：各8名

園児全員の現在の発達経過報告、特に注意し、援助が必要な子どもの現在の状況と今後の対応について話し合い、援助の仕方の共有を行う。

### 〈3〉 進級引継、および小学校への引継状況

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、卒園児の引継ぎも今年は電話でのみ行った。

## 11. 子育て支援事業

今年度の子育て支援事業・イベント・子育て相談・青空保育を含む延べ来園者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4名	0名	4名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	8名

実施項目	詳細												
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30 にて実施												
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30 ⇒計0件相談実施済み												
自然食堂 親子ランチ 交流	毎週(水) 10:00～12:00 ⇒計24回実施済み												
	参加者延べ人数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
どろんこ 芸術学校 どろんこ 自然学校	毎週(水) 10:00～12:00 ⇒計12回実施済み												
	参加者延べ人数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	2名
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00 にて実施 門扉前に無人のフリーマーケットかごを設置												
ちきんえっ ぐだより	毎月1日発行												
青空保育 (支援セン)	月1回 公園名：わらび公園にて 以下日程にて実施												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計

ター主催)	2名	0名	4名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	6名
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

## 12. 園運営の向上

### 〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

今年度受審なし

### 〈2〉園による自己評価の実施

2023年9月1日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施済み。

自己評価開始時刻：9時00分

自己評価終了時刻：17時00分

自己評価実施者：全職員対象

### 〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用 保護者に対し、アンケートを実施

アンケート配布日：8月25日

アンケート回収率：100%

「子どもの自主性の面で成長が見られ、活動に関して満足しています」「自立心が強くなった」といった嬉しいご意見がある中で、スタッフ間での引継ぎや保育士の教育不足など厳しいご意見もありました。

次年度は、スタッフのスキルアップをしっかりと実行していきます。

## 13. 苦情解決・ケガのうち報告すべき事項

ご意見ご提案デスク（HP・メール・電話）、口頭・書面・連絡帳・ご意見ご提案ボックスによって寄せられた全ての意見・要望・苦情について、原則、「苦情対応体制」に従い、法人として解決を図る。以下、報告すべきご意見・ケガに関しては次の通りとなる。

### 〈1〉報告すべきご意見

報告すべきご意見 0件

### 〈2〉報告すべきケガ（事故含む）

報告すべきケガ（事故含む） 0件

※なお、報告書内の3月度の数値結果に関しては、すべて見込みの数値となっている。

以上

作成日：2024年3月15日

作成者：メリー★ポピンズ 蕨北町ルーム 施設長 前橋 佳代子